

## 衣服パターンの自動製図に関する研究

○ 畠山絹江\*, 飯田尚紀\*\*

(\*京都女子大学短大, \*\*産業技術短大)

【目的】アパレル業界においては、大手メーカーから中小企業まで CAD システムが多く利用され、最近ではパターンメイキングシステムも、二次元から三次元表示にまで発展して来た。一方、コンピュータの世代交代もサイクルが早く、性能もアップし教育現場においても Windows 環境での機器更新がなされている。本研究では、これらの状況に鑑み、汎用的な Windows 環境でのパターン製図が出来るソフトを開発し、パターン設計・製図教育や実習などで活用出来ることを目的とした。

【方法】自動製図プログラム作成は、Windows95/98/NT のプログラム開発言語「Microsoft Visual Basic 6」を使用した。作図用の画面は、コントロールと呼ばれる部品を使って、初心者でも操作がし易いようにユーザインターフェイスを考慮して、フォームをデザインしアルゴリズムを構築した。パターン製図に不可欠な身体寸法ならびにゆとり量を入力し、描画ボタンをクリックするとパターンが表示され、出力結果を理解・認識させるように設計した。身ごろ・袖・スカート原型をはじめ、デザインに対応したパターンの自動製図が出来るようにした。

【結果】①プログラムを実行すると、瞬時に入力寸法と作図結果が表示され、ユーザの体型に対応したパターンが得られる。②自由曲線で生成したアームホールや衿つけ寸法を計算させ、画面上に表示することができた。原寸大のパターンをメジャーで実測しなくてもよいなどのメリットがある。③個人の身体寸法を入力するため、オーダ用のパターンメイキングシステムとして活用できるなどの効果が認められた。